

7月度生涯研

「口から食べる」サポート

咀嚼訓練のアイデア紹介

協会が主催する「7月度生涯研」は7月20日、7月度生涯研修講座「1から始める口腔ケアと維持・回復に必要な基礎知識(後期高齢者の口腔機能管理)」をM&Dホールで開き、歯科医師ら80人が参加した。講師は五島朋幸氏(東京都新宿区開業、ふれあい歯科(ごう)代表)が務めた。



「口腔ケアを通してお年寄りの食をサポートする」と強調する五島氏(右)と、熱心に話を聞く参加者(左)＝7月20日、M&Dホール

五島氏は「新宿区は若者が、実は高齢化が進んでいる街のイメージである。在宅医療を必要としている

る患者さんがたくさんいることを、知りあった内科の先生から教えられた。二歯科の訪問診療を勧められたが、何から始めればいいのか分からない手探りから始めた」と冒頭に述べ、訪問診療とは居室にいる患者さんに対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に定期的に歯科医師が診療を行うものとして定義し、在宅での食べる機能を支える、よりよい口腔環境を維持する目的で行われるとした。

在宅になる原因として脳血管障害、パーキンソン、癌のターミナルがある。入院中もしっかり歯

料がかかわって歯科治療を行っているかないと在宅

に帰った時に、口から食べられない患者さんがたくさん作られてしまう。

口腔ケアを器質的口腔ケアと機能的口腔ケアに分けて意義を述べ、嚥下機能の向上にはサフスタンスPの増加が必要であり、口腔周囲のマッサージ

や、ブラッシングで粘膜を刺激することが効果的であると指摘した。

誤嚥性肺炎の予防にはブラッシングやバイオフィームをこすって落とすとともに、自分で咀嚼して食べることで自浄作用が働き口腔内細菌が減るので予

防になる。また、口から食べて腸管を動かせること、免疫力も賦活される。

同氏は「咀嚼機能回復のための『昆布あたりめ訓練』は無味乾燥になりがちで訓練に対するアイデアである。我われは口腔ケアを通してお年寄りの

の一番の楽しみである食

べることをサポートしている」と強調した。

24時間受付
お気軽にお電話下さい

株式会社 **ハーモニック**
(和田精密グループ)

フリーコール イー・しごと
TEL 0800-1114510
FAX 06-6393-3232
e-mail: info@harmonic-net.co.jp

担当: 下田
532-0002 大阪市淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F
有料職業紹介業 27-ユ-300406
一般労働者派遣業 般-27-06-0054

東大阪・八尾・柏原地区 高齢者医療廃止で宣伝



署名への協力を求める伊津理事長＝7月23日、近鉄八尾駅前

「年齢で医療を差別し、早く死ぬと言わんばかりの制度は許せない」。

八尾駅前

八尾社会保障推進協議会は7月23日、後期高齢者医療制度の廃止を求めて近鉄八尾駅前街頭宣伝を実施し、会長を務める伊津進弘理事長ら6人が参加した。

後期高齢医療 年齢差別の医療制度 廃止法案成立へ署名のお願い

多くの国民の怒りを呼んでいる、後期高齢者医療制度の廃止・撤回まで、あと一歩に迫っている。野党4党の廃止法案が6月6日に参院で可決され、現在、衆院では継続審議中である。

協会・保団連は8月下旬の臨時国会に向けて、同法案を衆院で速やかに審議し、可決することを求める署名活動に全力で取り組む。今号折り込みの用紙への、先生方のご協力をお願いしたい。

同制度をめぐっては、国民の批判をかわそうと与党が見直し策を提示したが、制度の根幹部分は変わらず小手先の修正にとどまっている。政府は見直し策で「保険料最大9割軽減」としているが、負担減に変わる高齢者が制度対象者のわずか5%しかないことや、同一収入でも世帯によっては保険料が軽減されないケースがあるなど問題が明らかにしている。

与党の見直し策

- ・低所得者に対する保険料最大9割軽減
- ・年金収入210万円以下の所得割を5割程度軽減
- ・後期高齢者終末期相談支援料の一時凍結
- ・保険料天引きの申告による口座振替への変更

見直し後の同一収入世帯の保険料負担比較

	年金収入	収入合計	軽減	保険料負担
世帯A 夫	260万	302万	なし	18万7706円
妻	42万		なし	
世帯B 夫	152万	302万	均等8.5割	1万3800円
妻	150万		均等8.5割	

証 橋下改革

二宮 厚美 (神戸大学発達科学部教授)

大阪府の7月臨時議会が7月23日、今年度の本格予算を可決し閉会した。橋下知事は、「大阪府は『発展的解消』し『関西州』をめざす」とし、府民サービスを市町村に押し付け財界本位の大型開発を積極的に進めるための道州制の推進をうたっている。その「橋下改革」の狙いについて、二宮厚美氏(神戸大学発達科学部教授)に3回にわたり投稿してもらう。

大阪府下府政は、その「大阪府庁の発展的解消再建計画を『大阪維新』を旨とする。これと名づけ、将来には、れまでの大阪府知事とは



げた点にある。地方自治体としての大阪府をなくすという事は、これまでの都道府県は廃止し、道州制によって日本列島を再分割するということを意味する。

をとりまとめたのかとい

る道州制プランでは、こ

要な理由を説明して、

町村合併を推し進め、全

道州制による日本の再分割

幕藩体制の復活を狙う「大阪維新」

異なる橋下知事の最大の特徴は、「大阪府庁の発展的解消」の名前で、大阪府政の解体を公然と掲

この構想を知事は、6月5日の記者会見において、「僕はこういう思いで大阪維新プログラム案

とでの関西州、または近畿道のなかに吸収されて解消することになる。

盤の整備、大規模プロジェクトの推進である。記者会見で橋下知事は、道州制への移行が必

道州制のもとでは、当然、市町村も変わることになる。政財界の道州制

維新とは名ばかりで、実は橋下プランは幕藩体制の復活を意図したものである。ということが出来る。

求人票送付 → マッチング(ハーモニックにて) → 面接 → 採用

① 求人票送付 → ② 求職者が求職票送付 → ③ マッチング(ハーモニックにて) → ④ 面接 → ⑤ 採用

条件合意

不採用

※求人内容によりましてはご紹介が難しい場合がございますので予めご了承ください。